

令和4年度
初

ウォーキング倶楽部



今回の
見どころ

と き: 令和4年4月23日(土)午前9:00開始
と ころ: JA庄内みどり 本所東側職員駐車場

『浜畑ミステリースポット』コース

① 福德稲荷神社

天保3年(1833)、谷地田地方開発の為に創建されました。「谷地田稲荷」と酒田十景に描かれています。昭和3年に御社殿を再建しました。本間光勇さんの耕地整理事業の碑、人柄が好まれた角力取りの佐之山庄兵衛の碑があります。



③ 黒塀ストリート

本間美術館裏の黒塀に情緒を感じながら歩くと古い街並みが残る黒塀ストリートがあります。

この辺り一帯は日本海からの強い風に運ばれた砂原だったそうです。



⑤ 福稲荷神社

浜畑町は日本海から吹いてくる強い風のために、一面の砂原でした。平田郷の大庄屋尾形庄蔵は宝暦元年(1751)、藩に願い出て濱畑に移住し、この地方の植林を始めました。この植林事業の成功を願い、尾形家の守護神であった稲倉魂命を浜畑の自分の家の近所に祀ったのがこの稲荷さんです。



⑧ 福王寺(真言宗醍醐派)

不動明王の密教のお寺です。不動明王は庄内十三仏の一つで、恵比寿様は山形七福神に入っています。昔は千石船の海上安全祈願や眼病に効くとされ、古くは北方の守り神でした。不動明王が持つ剣の絵馬が沢山あります。



⑦ 濱畑稲荷神社・西国三十三観音

稲荷神社の創建は不明。正面に立派な宝篋印塔、その前面に第一番那智山と彫られた如意輪観音像があり、その周辺には西国三十三観音像がいろいろ向きを変えて立ち並んでいます。

お地藏さんや泉水の跡も残っています。とても不思議な空間に感じられてなりません。



⑥ 興野の山

浜畑町(現・酒田市栄町周辺)で一段と高くなっている所を興野の山と云われていました。天明年間の東北大飢饉や病で庄内に行けば生きられると聞いた難民が羽州浜街道を歩いて庄内を目指してきました。

内町大庄屋伊東家はこの丘に、家を建て住ませ、造園を営ませました。



⑩ 瑞相寺(浄土宗)

元禄8年(1695)に林昌寺の十三世暁誉上人が創始したお寺でこの寺を抱え念仏堂(千日堂)または浜の念仏堂と呼ばれおり、この辺の町名を千日堂と言っていました。念仏と鐘の音が絶えなかったと言います。念仏回向塔は初代亀崎城代松平甚三郎が叔父酒井忠勝の菩提を弔うために33年ごとに一基を造立しました。(旧酒田南高敷地内)



⑨ 林昌寺(浄土宗)

天文年間(1532~1555)京都知恩院から下向した炭源が宮野浦に開山した浄土宗のお寺です。永禄年間(1558~1570)現在の上ノ山自転車の辺りに移転。林昌寺小路という名残があります。嘉永年間(1848~1854)現在の地に移転しました。



林昌寺鐘 市の文化財です。宮野浦から渡し船に乗って、向酒田から当酒田へ移転しました。釣り鐘の移動が難しく、旧暦の一月、最上川が全部凍る頃を利用し、氷の上を押して運んだようです。「出羽州田河郡大泉庄於酒田湊」と刻まれています。

